

研究授業記録

令和3年 2月 10日(水) 5校時 5年

No. (1/4)

単元名「 環境を守るわたしたち 」

授業者: 瀬口 雅孝

教師の発問と児童の反応

- T あいさつをお願いします。
- C これから5時間目の学習を始めます。よろしくお願ひします。
- T 前回の学習を振り返ってみましょう。前回やったことは何でしたか。
- C 東京都の公害について学習していました。
- T そうですね。公害について学習していましたね。1972年の写真を見て、どんな様子がわかりましたか。
- C 汚い。
- T 汚れているってことでしたね。ほかははどうですか。
- C 泡が浮いていました。
- T ほかは何がありましたか。
- C 変な色をしていた。
- T 変な色もしていましたね。ほかはどうですか。
- C 工場排水や生活排水が原因だった。
- T 工場や家庭の排水が原因でしたね。これが原因でどうなったのですか。
- C 海が汚れました。
- T では、1972年以降の東京湾はどうなったと思いますか。理由もつけて発表できますか。ずっとこのまま汚いままだと思う人。(数名挙手) きれいになったと思う人。(多数が挙手)
- C 今の方が水道局とかがどんどん発展していつているから、その人たちが泡とかきれいにしてくれているんじゃないかと思いました。
- T なるほど。きれいにしてくれている人がいると思ったんですね。
- C このままだと水産業ができなくなるから、きれいにしたと思う。
- C 水道局や水産業をしている人たちが協力して、みんなで話し合っ対策をしたと思う。
- T なるほどね。では、今日のめあてを書きます。
《板書》1972年以降の東京湾はどうなったか調べ、まで書き板書を止める。
- T 調べた後今日は何をしますか。

教師の発問と児童の反応

- C 学習問題を作ります。
- T はい。では、学習問題を作ろうにしましょう。
- 1972年以降の東京湾はどうなったか調べ、学習問題をつくろう。
- 《書けた児童から3名児童間で指名をしてめあてを読む。》
- T では、新聞記事を配ります。2人で1枚配るので2人で見て気づいたことを話し合ってください。(1分ほど時間をとり児童同士で話し合う。)
- T では、どんなことがわかりましたか。
- C 51年ぶりにあわがなくなった。江戸前の海水浴場が復活した。
- T つまりこれからわかることは何ですか。
- C 海がきれいになった。
- T ほか何かわかったことありますか。
- C 51年ぶりに海水浴場が復活したということから、何かきっかけがあつて泡がなくなったのかなと考えました。
- C 生き返ったヘドロの海と書いてあつたことからものすごく海が汚かつたことがわかりました。
- T もうひとつの写真を見せます。どんなことがわかりますか。2013年の写真です。
- C 最近の写真だ。8年前だから生まれている。
- T この写真からわかることありますか。
- C 人がたくさんいる。
- C 海がきれいになっている。
- C たくさんの方が楽しんでいることがわかる。
- C 奥には清掃工場が見える。
- T この写真も葛西の写真だけど、葛西といたらみんなどんなイメージですか。
- C 葛西臨海公園
- T みんな2年生のころにいつたことがありますね。
- T 1972年から2013年で変化をしたんですよ。その変化で疑問に思ふことや不思議に思ふことをノートに書きましよう。その疑問から学習問題を作つていきましよう。「なぜ」「どうして」

研究授業記録

令和3年 2月 10日 (水) 5校時 5年

No. (2 / 4)

単元名「 環境を守るわたしたち 」

授業者: 瀬口 雅孝

教師の発問と児童の反応
<p>という書き方をするといいですね。 《ノートに疑問を書く》 《児童同士で意見交流をする》</p> <p>T どんなことを書きましたか。疑問を教えてください。</p> <p>C 東京に観光客が来て欲しいから、ボランティア団体をみんなで作ったのではないかと思います。</p> <p>T ボランティアについて疑問を書いた人いますか。 《数名あがる》</p> <p>C ボランティアというか、誰かがって書きました。 (つぶやき発言)</p> <p>T 今つぶやいたことを発表してください。</p> <p>C はい。だれがどうして海をきれいにしようと思っていたのか疑問に思いました。</p> <p>T ほかに疑問ありますか。</p> <p>C いつからきれいにし始めたのか疑問に思いました。</p> <p>C どうやって今は排水しているのか疑問に思った。</p> <p>C 今はもう公害がないのか疑問に思いました。</p> <p>T だれがや、どうしてというところの疑問ができましたね。では、学習問題を作っていきますか。どうしますか。まず、どの言葉を使いますか。</p> <p>C 東京湾はから始めます。</p> <p>T 東京湾がどうなったんですか。</p> <p>C きれいになった。</p> <p>T 東京湾の海をきれいにするために</p> <p>C どのような</p> <p>T どのような何ですか。先に誰がじゃないですか。</p> <p>C うーん…</p> <p>T (疑問の板書を確認しながら)「だれが」が先じゃないですか。だって、だれがやったのかな?とか、ボランティア団体かな?って疑問が出ていましたよ。</p> <p>C あーそっか。</p> <p>T 「だれがどのように」ってさっきの発表であったからそれでどうですか。</p> <p>C (うなづく) うん。いいです。</p>

教師の発問と児童の反応
<p>T では、「だれがどのようにした」にしましょう。だれがどのようなことをしたのだろうか。で、いいですか。</p> <p>C はい。</p> <p>T 何か付け足した方がいい言葉はないですか。</p> <p>C これでいいです。</p> <p>T 本当にこれで自分たちの疑問が解決されますか。</p> <p>C はい。</p> <p>T では、この学習問題で学習を進めていきましょう。さあ、では、学習問題できたので次は考えましょう。何を考えますか。</p> <p>C 学習計画を考えます。</p> <p>T 学習計画を立てるためにどうしますか。</p> <p>C (いろいろつぶやく) キーワードを出す。など</p> <p>T 学習問題の予想をしていきましょう。「だれが、どのようなことをしたのか」というところの予想をノートに書きましょう。書けた人が多くなってきたら短冊を配りますので、名前ペンで書いて黒板に貼りにきてください。 《短冊に書けた児童から前で分類分けを行う。》 《児童が分類分け終了後全体で確認をする。ボランティアというくりが多くあった》</p> <p>C ボランティアの中に国や都が入っているから分けられないですか。</p> <p>T みなさんどうですか。分けられませんか。</p> <p>C 赤の磁石のものは学習問題から少し離れているので別に分類しました。</p> <p>T なるほど。ほか見てみて気づくことがありますか。もう少し細かく分けられるなとか、この意見くわしく聞きたいなとか思うものありませんか。</p> <p>T ボランティア、国と都ってすごく広がっているけどここをどうにかできませんか。 《児童が数名出てきて再び分類を始める》</p> <p>C ボランティアだけだと51年では、きれいにできないと思う。</p>

研究授業記録

令和3年 2月 10日 (水) 5校時 5年

No. (3/4)

単元名「 環境を守るわたしたち 」

授業者: 瀬口 雅孝

教師の発問と児童の反応
T なるほど。では、ボランティアだけではできないということですか。
C ボランティアだけだと無理だと思う。(つぶやき) 《さらに分類を児童が続ける》
T ボランティアという言葉が出てきたけどボランティアをしているのは誰なんですか。
C 市民。市民団体。(それぞれがつぶやく)
T 市民団体なんですね。
T ほかに誰が関わっているのですか。
C 企業 (つぶやき)
T 企業ですか。どの短冊になりますか。 《企業というフレーズの入っている短冊を教師がピックアップしていく》 「企業や市民団体がきふ金を出した。」「企業の人が水をきれいにする取り組みをした。」「市民団体や企業が泡を手作業でとっていた?」
C 水道局ってのは企業なのかな? (つぶやき)
T 水道局って何になりますか。
C 企業じゃないのかな?会社じゃないの? (つぶやき)
T 水道局の学習したときに水道局の前に何か名前ついていなかったですか。
C 「東京都」水道局でした。
T ということは?
C 都が何かしたってことだから、国や都にところに分けられます。
T では、ここに集まっている短冊は何のかたまりになりますか。
C 国や都になります。
T では、国や都が何かしらの取り組みをしているってことでいいですか。
C はい。
T あとは誰が関わっていきそうですか。
C 企業が短冊にあります。
C 漁業もあります。
T 漁業って書いたのはどうして?海で魚を捕っている人も何かしているのかなと思ったということ

教師の発問と児童の反応
ですか。
C はい。
T 「企業や市民団体がきふ金を出した。」って書いてあるけどこれはどういうことですか。
C お金をだして新しい技術を開発したんじゃないかと思いました。
T さっきの発言でボランティアだけではどうにもならないって言っていたけど、何か技術を使ったのかもしれないですね。 同じようなことを書いている人いましたね。「工場の会社の人たちや、海を管理する人が、海をきれいにする機械を作った。」これはどういう意味ですか。
C 協力して海をきれいにするための機械を何かつくったのではないかなと思いました。
T 協力し合っているのかな。原因にもどってみると原因は何でしたか。
C 工場だった。
T 工場でしたね。ということは、工場も関わってきれいにしたんですかね。
C うなづく
T 工場を動かしているのは誰ですか。
C 企業
T では、企業が何かしらの取り組みを行っているのかもしれないですね。新しい機械や技術があるのかもしれないですね。
T では、これでいいですか 《児童うなづく》
T では、席に戻ってください。
T では、どの順で調べていきますか。
C ボランティアから調べます。
T なぜボランティアからですか。
C 一番自分たちに身近だからです。
C 一番身近からやっていきたい。
T なるほどね。わかりました。ボランティアが1番にやりましょう。 次はどうしますか。

研究授業記録

令和3年 2月 10日 (水) 5校時 5年

No. (4 / 4)

単元名「 環境を守るわたしたち 」

授業者: 瀬口 雅孝

教師の発問と児童の反応

C 企業を調べたいです。

T なるほど。企業でいいですか。

《うなづく》

T では、企業で最後に国や都を調べていきましょう。学習計画表を配りますので、学習問題と調べ計画を書きましょう。そのあと、今日の学習の振り返りを書きましょう。

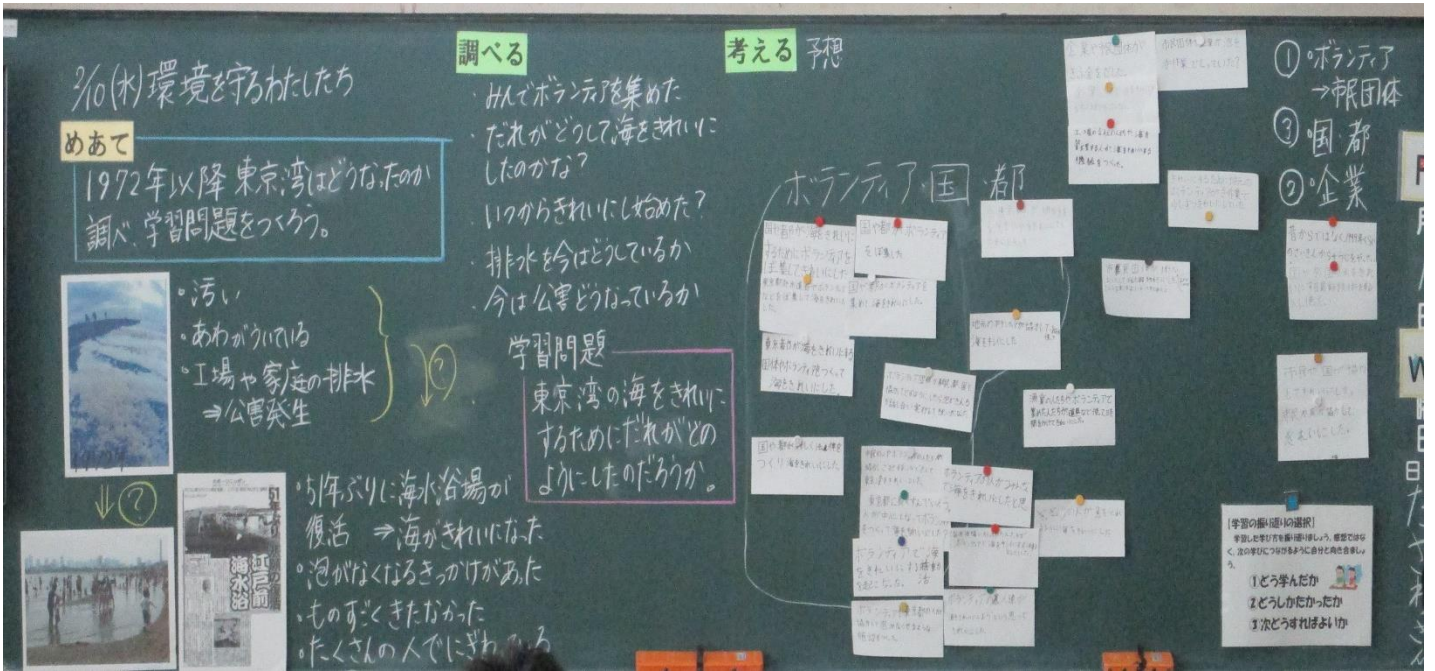
《チャイムが鳴る》

T ではあいさつをしましょう。

C これで、5時間目の社会の学習を終わります。ありがとうございました。

教師の発問と児童の反応

【板書記録】



【児童の様子】

